内外電報

帝國政府回答

米國の尼港占領抗議に對し

帝國の對米回答に就ては去月三十日の閣議に於て決定し居れるを以て六日の閣議に於ては單に外交上の手續に就て協議の上確定したるを以て午後の臨時外交調査會に附議したる後米國政府に發送することとなりたり右對米回答の大要に就て聞く所に依れば米國政府今回の通牒には誤解あるを以て之が釋明をなさむとするものにして回答文の如きも甚だ簡明なるもの由なるは要するに一、帝國の尼港占領に對しては過激派の脅威未だ知らざるのみならず同地に在る七千の帝國居留民保護の必要上駐兵の必要あり又ハバロフスクに於てはニコライエフスクに至る要衝の地點なるを以て相當駐兵の要あること、二、帝國政府は尼港事件に對して將來の保障を得且同胞の被りたる損害の帝國政府聲明の如く帝國の威信に對し賠償を求めざるべからざること……

段派失脚と帝國態度

政治犯人は國際法の正義に據る

四國借款と滿蒙除外

支那借款と米國

曹氏副總統説

張作霖氏直隷督軍たらん

重慶舊國會復活

齊多方面早くも動亂

日本軍撤退後の混亂

過激派の亂暴狼籍

過軍形勢

波蘭援助

墨國政變

陸軍總長

鮑督軍説

廣東動員

陸軍異動

十日發表か

英國首相言明

波蘭と獨逸中立

波蘭前途悲觀

露派戰闘と墺國

過激派と米國

勞農政府誠意

米國對支活躍

米鐵道債券發行

日本公使要求

紐育棉花市場

時局鎮定後の張作霖

公訴不受理問題（二）

昌原事件判決書

米國の支那移民歡迎

注目すべき加州排日の解決策

加州の農園

大平洋沿岸

露國派遣

參謀部將校

沈衰狀態

取引圓滑

占領問題

財界前途

安定は十月か

奉天省防穀令

黄海道經濟狀況

山根理財課長談

國境方面警備視察

東拓社債賣切

水野總監歸程

平沼博士北行

慶南道路被害五拾萬圓

全南災害救濟支出

鎮南浦銀行貸出高

全北自制會愈解散

咸北鴨川近海鯖漁

風塵録

資本金六百萬圓
（明治三十八年設立）
株式會社 漢城銀行
當銀行は預金、貸金、爲替等一般銀行業務を確實親切に取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門、東大門、入鄕
出張所所在地 東萊、釜山、大邱、西大門
頭取 李允用
專務取締役 韓相龍
取締役兼支配人 韓翼教

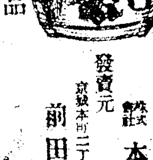
資本金 貳百萬圓
政府貸下金 貳拾貳萬九千餘圓
諸積立金 參拾六萬八千圓
株式會社 朝鮮商業銀行
京城府南大門通り一丁目十九番地
頭取 趙鎭泰
支配人 岩崎虎次郎

京城長谷川町（鐘路派出所前）
内科 外科 花柳科
岩田院
正五位 岩田末彦
電話 一六二〇

七月十七日營業開始
資本金 貳百萬圓
株式會社 海東銀行
頭取 尹德榮
專務取締役 沈相翊

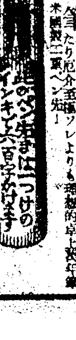
ヘタな萬年筆はインキが出なかつたりボトボトと過ぎたり厄介至極ソレよりも理想的卓上萬年筆とも云ふべきは此の米國製ペン先
定價 一本七錢 一ダース七拾五錢 送料一拾に付八錢
發賣元 釜山日報京城代理部

銀行一般の業務を營み特に御便利に御取扱申候
資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
京城本町一丁目
株式會社 百三十銀行京城支店



天下一品
釀造 株式會社 本嘉納商店
發賣元 京城本町二丁目 前田合名會社

七月十五日營業開始
資本金五百萬圓
株式會社 朝鮮實業銀行
頭取 古城菅堂
專務取締役 豐田豐敏



제37호 1920. 8. 9.



ネラピー火山爆發す

中央瓜哇ネラピー火山爆發し … (バタビヤ來電)

虎疫豫防の第一義

飲料は勿論・魚類肉類蔬菜 其他にも充分の注意を拂へ 芳賀總督府醫院長の談

海水が

燒くか

徹底し

保護に

通行人

全市恐怖に襲はる

虎疫猛威を加へて患者續發 八日の累計二十四名

病死者の屍體を爆彈で片附ける

皇帝を與へよ豚肉を與へよ 「猶太人と馬肉を排斥せよ」と絶叫する露國民

惡疫流行

空中稅關や禁止區域

空界の取締は隨分面倒だ 山梨新航空局長の談

（東京支局）

驚く可き飲酒量

日本人一年一人前の量は一斗九升五合當り

消費量は … 輸入酒類 … 經濟上に …

（東京支局）

鰹の子を帝大で探す

某銀行員犯罪の裏面

敷萬圓の橫領金は如何に費消されたか 女蕩しの岡崎の性行 （二）

花の家の … 沖之家の …

赤い戀・青い憎 （一）

引かれ者の妻が不義の戀に別れる迄

男の家のために別れた妾なればこそ

晩春の夕闇

夫が唇を

紅の唇が起

狂女の容姿

經營者を更へた文樂座が劇場に

增築して座名も變へる 廻舞臺や花道を設け大に觀劇趣味の鼓吹

新經營者

利用して

大道具や

不徹底な

六萬五千

理合方法

奉天の大相撲

稀有の好景氣

（奉天來電）

元ホテル主任 橫領事件判決

懲役一年六ヶ月

（新義州）

仲裁人を刺す

極惡女

子宮を切取り一儲せんとす

（仁川）

家庭

虎疫の注意

尼港事件活動大寫眞

當る八月

七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日
土曜	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
…	晝	…	…	晝	晝	晝
夜	夜	夜	夜	夜	夜	夜

晴雨に拘らず 七日間限り 日延なし

咄

酸鼻の極！痛恨の極！！

國民の前に暴露されし 邦人大虐殺の血と涙の眞相 言語に絶へたるパルチザンが跳梁跋扈の跡

事實大慘劇

噫 我が同胞 全編

怪

大正九年五月廿四日尼港殉難者か尊き最後の叫！ 我同胞七百餘名は斯くして敵の毒刄に殪れたり

義憤の極！空前の國耻！！

尼港殉難者の英靈を慰めん爲め特に本映畫に限り當地斯界の第一人者(權威ある筑前琵琶教師坂井旭水師)の出演彈奏を懇請し得たり

本年六月東京、大阪に於て愛活家の血を沸せたる大映畫

伊太利アンブロージオ會社特作品

▲原作者 ポール、ダ、コツク氏
▲脚色者 エーコンサンビ氏
▲撮影監督 イー、エフ、バーハ氏

藝術映畫 月戀ぶ人 全八卷

THE LOVER OF THE MOON. AMBROSIO, … … … … ITALY,

▲說明者 石田旭花。南卿公利。古櫻麗葉

觀覽料 壹等金貳圓 貳等金壹圓 各等半額（小人・軍人）

▲滿七歲以下の御子供衆は可成入場御斷り申候

公開場 黃金館 電話二六三七番

○本興行に付き御用の方は黃川演藝部(電話長二〇五番)へ御照介

小説 判官 照手姫 (三十七)

旭亭棲山口演

肌に着けた三百両

東名代の難所山は、難所の地として取り手入れを致しません、今日ですら街道を僅か歩いて見ますと、僅くばかりの道でございますから、況して大昔の事、其の難所といふ者は言葉に盡されなかつた、小四郎はさのみでもありませんが照手姫はほと／＼難儀にも行りました、踏み出す足は岩根に躓つき、怪我をする、血が出る、贅でもありませんけれど、照手姫が背負ふといふ事も出來るが其れならず、照手も實に小四郎に氣の毒ゆゑ、照「四郎お前先へ行つて見れますやら、妾は後から、そろ／＼行くから」 四「何の左樣な事が出來るものではございません、決して御心配なさるな、

云はねえで乘せて上げなせえ、見りやア大層綺麗な巡禮さん、それに引換て六部さんは恐ろしい強い顏をして居る、其れでもマア御夫婦かね」 四「イヤ然ういふ譯では無い」○「ナニ然しなさるには及ばねえ、夫婦でねえからつて、此の導別に何うしやうといふ譯もあるおやアねえが、モウコレ此辺も五十の坂を越した俺、我らが足から血を垂らして歩いてるのを見ると氣の毒で堪まらねえから、其れで乘せて上げやうといふのだ、只心配なのは六部さん、此方から乘せやうといふんだ、何卒乘れ彼乘れと、いふんぢやアねえ、親切に云つて呉れるなら、お世話になら…」



只今承りましたら、此の時に女ならば馬に乘んさせるやう」 照「イヤ／＼私は宜うございますから、どうかお前が乘つて…」 四「何う致して、私は左のみ疲れもせず、足も痛めて居らぬゆゑ…」 若「イヤ六部さん可愛い方の馬士が、○「いゝもんだねえ、自分が斯んなに足を痛めて居てもお前さんに乘れといふ、此奴ア女が本惚れだ」 四「馬鹿な事をいふな、怪しからん…」

アノ遠か一難所い所で、是れから先は幾らか樂でございませう、難所と云ふ處は總を分はり／＼、丁度此の道の追分けまで參りますと○「アヽモシ／＼六部さん、見ればお連れの巡禮さんが足から血が出て居る、何は御難儀の事だ、私達は此の山中まで來たものだが、何な此の馬に其巡禮さんだけ乘せて上げても好い、何と乘んなさる氣はないか」 四「さうだ、左樣な御親切は有難いが、…」 四「お前さんは明だから、お前さんから…」

えかえ、お前さん然うおやアねえ、お前さんが足を痛めて可哀想おやアねえ、何うぞ願ひ下さるやうに」と、勸められて照手は漸く馬に乘り、若い奴が手綱を取つて歩き出した、沓掛八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川と云ふ諺があるが、中々此の箱根八里が容易ではございません、其の險しい道を爲から先無理に歩かうとしたら如何んな怪我をするか知れねえ、六部さん、其んな險しい所を…馬は安心をして○箱根長尺に付七時開演

「…になつてはならん」と云へど、者と別れ／＼になつては…聞らく待つて…是は一大事と思ふから、背かず、何も忘れて馬から飛び下ると、姫は怖さも忘れて…が、右手を伸して姫を小脇に引抱へる、途端に手先に當つたのは、前に申上げた三百兩の金でございます○「イヤ此いつア王ばかりだ」と思つたら素晴らしい物を肌に附けて居る、汝は馬を捜いて…と、己は姫を小脇に抱込み「ドン／＼山へ登つて行きます。

其の馬の前に附いて歩りますと、不圖草鞋の前緒が切れた、是れは飛んだ事をしたと思つて、下を向いて其の前緒を直して居る間に、急に馬を追ひ始めた「アヽコレ／＼險しい道を然んなに追つて往つて、上の者を落としでもしたら何うする、コレ待たんか、馬士待たんか…」と聲を掛けても彼は耳にも入れず、本街道をば行かず右手の方の細道をドン／＼登つて行く、馬上の姫は驚いて「コレ馬士どの待つて呉れ…、後の…

赤心堂石井商店

驗溫器ハ總督府醫院及齊藤ノモノヲ販賣ス注射器類各種專門藥品器械治療材料

京城長谷川町一一六 電話二五二八番 振替京城七七四一番

廣告

京染 …屋

京城本町三丁目 電話○六八

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

大正館

櫻井町 電話八七三

來る八月六日より大興行 實寫 「樺太」 實寫 「…」 喜劇 「…」

…

戸田新八郎 全六卷

人間タンク

黒髪 全六卷

喜樂館

日活直營 本町一丁目 電話五九七番

來る八月六日提供

女一代 全五卷

ナムバーワン 全五卷

神稻水滸傳 全八卷

日本活動寫眞株式會社 京城黄金町一丁目特約代理店

黄金館

電話二三六七、二三六六

噫我が同胞

月戀ふ人 全八卷

朝鮮郵船



元山出帆		
大阪行	八月三日	平安丸
下關行	八月六日	京城丸
江原道行	八月二日	咸鏡丸
敦賀行	八月八日	慶興丸
浦鹽行	八月…	溫城丸
釜山出帆		
大阪行	七月卅一日	新潟丸
大阪行	八月五日	平安丸
下關行	七月十三日	平安丸
北鮮行	八月十五日	京畿丸
浦鹽行	八月三日	清海丸
木浦出帆		
大阪行	八月二日	城津丸
釜山行	八月三日	全羅丸
濟州島行	八月…	…
仁川出帆		
大阪行	七月卅一日	成鏡丸
鎮南浦行	八月五日	…

朝鮮郵船株式會社

京城取扱店 釜山支店 電話一八四番 元山出張所

京染 水標町二丁目 フカダ

コレラ豫防に

總督府並ニ警察衞生課御用品



撲滅

總督府並ニ警察衞生課御用品 京城本町四 本舗 川瀨瀨生堂

東京佐倉製

ペントン式金庫



其他手提金庫各種 値段表御申越次第進呈

朝鮮代理店

金物商 佐藤平次郎商店

京城南大門通二丁目

田中丸病院

(入院隨意)

醫學士 田中丸治平

上野和夫

轉移

當支店營業所兼て左記へ新築中の處這般落成致候に付本日移轉仕候間倍舊御引立の程奉希上候

大正九年八月八日

仁川府港町五丁目十七番地

株式會社 朝鮮商業銀行仁川支店

DOGS BRAND NURTLOGEN

弘田博士外五博士實驗推賞

滋養糖

婦人の活動 婦人の装飾に生る

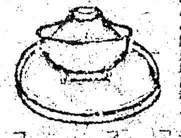
眞 ... 商店

李王家御用 諸官廳御用

ホワイト社

加藤誠治

即席料理 經濟 美味 吸物の玉



釜山日報代理部

宮内省御買上品 創業享保十三年 ◎山口縣名産

元祖 甘露醤油

京城特約店 輸出入商 岡商店

イケダ小兒内科病院

謹告

時下酷暑ノ砌益々御隆昌ノ段奉大賀候平素ハ多大ノ御厚情御引立ヲ蒙リ以御蔭日増業務ノ發展ヲ來シ候儀厚ク御禮申述候陳者今回日本ペイント製造株式會社特約代理店引受申候處同社製品ノ眞價ニ付テハ既ニ御需用各位ノ御定評ヲ得居候モ尚一層品質ヲ精撰シ且價格モ出精平素ノ御愛顧ニ相酬申度不取敢在庫準備トシ各種第一回入荷仕候ニ付何卒舊倍ノ御用命御引立ヲ賜リ度奉懇願候先ハ右御披露申述度如斯御座候 敬具

大正九年八月

京城府太平通二丁目五十八番地

株式會社 常盤商會朝鮮營業所

電話長五七六番

最新 滿洲地誌 上下

滿洲に關する出版物は少なからざるも多くは數年前の刊行に係るものにして非常の速度を以て發展しつゝある新しき滿洲を記したる出版物は殆んど皆無にして…面に關する出版物は多く其の自然界と人事界を知るに足らず、本書は本社長樫…朝鮮及び滿蒙叢書の第五輯として刊行せるものにして…最近の滿洲を知り、滿洲の天然と人事とを廣く知らんとするものは本書を手にせらるべし。上下二卷既に出版せり

最新 朝鮮地誌 上中下

本社は朝鮮及滿蒙叢書の第一輯として…

京城日報

年中無休刊

社説

米國に對する回答

殖民地概説（六）

拓殖局編

第三章 殖民地の統治機關

第一節 沿革總叙

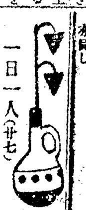
地方制改正

（四）府制施行規則中改正案

第二條 協議會員の定員左の如し

一 人口二萬未滿の府 十二人
二 人口二萬以上三萬未滿の府 十四人
三 人口三萬以上五萬未滿の府 十六人
四 人口五萬以上十萬未滿の府 二十人
五 人口十萬以上の府 三十人

前項の人口は道知事の認定に依る



一日一人（廿七） ヒマラヤ山人

松山常次郎君と渡邊定次郎君（上）

逆流（九）

創作　森 澈 波

蒙古通信社長 眞繼義太郎著

新刊 **蒙古見物**

三六版 總クロース製美本縮入 口繪寫眞三十面入 本文ポイント組三百十二頁 定價壹圓七拾錢 送料六錢

人生としての蒙古＝佛教國としての蒙古＝藝術國としての蒙古＝原始國としての蒙古＝戀を中心としての蒙古

三千年前の太古時代、原始生活に分け入つたやうな風物と、情調の好修練である――蒙古旅行は人生行路の一部分としての古に對する偽らざる著者の感激と、批判とを赤裸に告白したる藝術的作である。

蒙古の旅行より

鄭家屯より開通まで／開通より洮南まで／兆南より葛根廟まで／葛根廟より圖什業圖／圖什業圖王府よりハン廟まで／ハン廟より小巴林まで／小巴林より林西まで／林西よりジョゲン○まで／ジョゲン廟より愛根廟まで／愛根廟より開魯まで／開魯よりモリン○まで／モリン廟より鄭家屯

取次店 京城太平通二丁目九五 振替京城五三三六番 釜山日報京城代理部 電話三一五三番

十八銀行新龍山支店

電話／五五〇

西比利亞一班 全

西比利亞は過激派の敗屈地としてのみならず今や我帝國の重要問題地となり、又世界の注目を惹ける重要地となれり、我日本人として西比利亞の研究は刻下の急務なり、本社は此機會に於て本社の社長釋尾旭邦氏監督の下に編纂せられたる本書を廣く江湖憂國の士に頒たんとす、幸に一本を左右にし、西比利亞問題を研究する參考の資に供せられたし

……（一冊定價三圓五十錢 送料（市外）二十五錢）……

發行所 京城南山町 朝鮮及滿洲社

◇醫界に定評ある

「醫療用酸素發賣開始」

仕候間多少に拘はらず御用命願上候

名古屋酸素株式會社滿鮮代理店

京城長谷川町九一（電話二三八九）

京城酸素鎔接所

所主 遠藤一二

一般鎔接 酸素 應用裁斷 請負

寒暑共凌難きトタン板屋根を改造せられよ

改造 特許セメント瓦製造株式會社

年々葺替を要する藁屋根を改造せられよ

◎耐熱耐震耐久のセメント瓦廉價提供

京城明治町一丁目 電話九三七番

社長 内山守太郎……○……大陸事業界の羅針盤

大陸之實業

出たり八月號

大陸唯一の實業機關雜誌出でたり

矛盾せる帝國の大陸政策……內山社長

朝鮮經營に關する經濟的施設

大陸開拓と日本の使命

朝鮮第一の產米

滿洲油房業

英米の大陸活躍

財界變動と東拓資金

大連魚市場問題

大連景氣と銀行家

大連訪問印象記

西伯利金鑛地帶

如何にして恐怖來に對應すべきか

セミョノフ將軍語る

現代名士と朝鮮觀

大連諸會社決算評

皮肉大陸千字文

支那過激思想宣傳

世界に稀なる四平街の商設備

北滿追弔に就て

蒙古教養と蒙古賣達

大連土地會社

海拉爾視察飛行

大連財界に於ける得意の人と失意の人

露西滿蒙の婦人

戀の忘れ遺身

バイカルの鑛產

文禄役戰史跡

本紙發展と使命

大連財界雜俎

財界短信

西伯利經濟事情

鮮山滿水樓囈語

我帝國の對蒙古政策

宗教上より見たる大陸政策

暗黑の獨逸を視察して

出たり八月號 見よ北鮮滿蒙西伯利北支那を縦斷したる大陸唯一の實業機關雜誌出でたり

發行所 大陸之實業社